

皮膚科



診療科長
十一 英子

専門医資格等 日本皮膚科学会皮膚科専門医
京都大学医学博士
京都大学医学部臨床教授
京都皮膚科医会理事

専門分野 皮膚科一般
皮膚免疫

得意疾患 乾癬
糖尿病足病変

□ スタッフ

平成24年10月1日時点

	氏名	専門医資格等	専門分野	得意疾患
医師	岡本奈都子	日本皮膚科学会皮膚科専門医	皮膚科一般	
レジデント	嘉山 智子		皮膚科一般	
レジデント	野々村優美		皮膚科一般	

□ 診療科の特徴

施設認定等	日本皮膚科学会専門医研修施設 生物学的製剤使用承認施設
-------	--------------------------------

1. 乾癬に対する生物学的製剤による治療を行っています。
2. 糖尿病足病変、基礎疾患を持つ蜂窩織炎、帯状疱疹などの感染症や難治性潰瘍など、総合病院の特色を生かして他科と密に連携して治療しています。
3. 地域の他病院から紹介された診断困難な症例、難治例、重症例なども多く受け入れています。

□ 主な対象疾患

アトピー性皮膚炎、接触皮膚炎、蕁麻疹、乾癬、薬疹、水疱症、皮膚腫瘍、皮膚潰瘍、細菌感染症（ざ瘡、蜂窩織炎、丹毒、伝染性膿痂疹、など）、ウイルス感染症（帯状疱疹、単純疱疹、カポジ水痘様発疹症、尋常性疣贅など）、真菌感染症（足白癬、股部白癬、爪白癬、カンジダ症など）など

□ 診療（業務）内容

糖尿病に合併する皮膚疾患：糖尿病センターとの連携のもと、糖尿病と関連した足病変、皮膚病変の診療を行っています。

乾癬：中等症～重症では、免疫抑制剤や生物製剤の治療を受ける患者さんが増えており、スクリーニング検査をし適応を決め投与しています。

帯状疱疹（ヘルペス）：重症度に応じて、抗ウイルス剤の内服、入院で点滴治療を行っています。

爪白癬：難治な爪の水虫には抗真菌剤の内服治療を行っています。

接触皮膚炎：かぶれの原因検索に、パッチテストを行っています。

薬疹：重症薬疹は入院で治療しています。

診断・治療のために積極的に皮膚生検を行っています。

□ 診療実績 (平成24年度)

入院患者数

1日平均患者数	新入院患者数	平均在院日数
4.4名	74名	21.8日

外来患者数

1日平均患者数
72.4名

主な疾患の件数など

皮膚生検	皮膚切開術	皮膚皮下腫瘍摘出術
279件	100件	136件

□ 学術活動報告 (学会・研究発表など)

演題・演者・学会名
頭部放射線照射後に発症したエクリン汗管癌の一例 志熊恵美, 遠藤雄一郎, 藤澤章弘, 谷岡未樹, 宮地良樹, 十一英子 第111回日本皮膚科学会総会 2012年6月1~3日 京都
皮膚症状が筋症状に先行した、卵巣癌合併の皮膚筋炎の一例 野々村優美, 櫻井謙次, 林雄二郎, 岡本奈都子, 十一英子 第425回日本皮膚科学会京滋地方会 2012年6月23日 京都
皮下結節の生検を契機に診断に至ったIgG4関連疾患の1例 岡本奈都子, 野々村優美, 林雄二郎, 十一英子, 山本鉄郎 第105回近畿皮膚科集談会 2012年7月22日 京都
男性の腋窩に生じたmucinous carcinoma of the skinを疑った一例 林雄二郎, 野々村優美, 岡本奈都子, 十一英子, 坂田晋吾 第427回日本皮膚科学会京滋地方会 2012年9月15日 滋賀
Lofgren症候群の1例 野々村優美, 嘉山智子, 林雄二郎, 岡本奈都子, 十一英子 第428回日本皮膚科学会京滋地方会 2012年12月15日 京都
静脈高血圧症により生じた手指の皮膚潰瘍の1例 野々村優美, 嘉山智子, 岡本奈都子, 十一英子 第429回日本皮膚科学会京滋地方会 2013年3月9日京都

□ 投稿論文など

著者・タイトル・著書・雑誌名
辻花光次郎, 鬼頭昭彦, 十一英子 インフリキシマブ投与により掌蹠膿疱症様皮疹と脱毛を生じた例 皮膚病診療 34(5):457-460, 2012
趙玲愛, 鬼頭昭彦, 辻花光次郎, 西村翔, 神田智子, 本田啓吾, 岡村美里, 荒木則雄, 十一英子 顔面と頸部の腫脹から肺癌が判明した上大静脈症候群 皮膚病診療 34(9):839-842, 2012
十一英子 糖尿病足壊疽?本当はコレステリン塞栓症 誤診されている皮膚疾患 384-386 宮地良樹編 メディカルレビュー社 2013 2月